

施策評価管理シート

2014(平成26)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
産業部	橋本 裕徳	63-7824 (商工経済室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	5	都市産業の振興
	施 策	1	都市産業

1. 施策の基本方針

Plan

- ・魅力ある商業空間の整備や地域の特性を生かした中心市街地の活性化を推進します。
- ・商業、サービス業の振興や新たな産業の展開を促進するとともに、若年者が身近で働くことのできる自立したまちづくりを目指します。
- ・新たな産業の創出支援や育成など市内都市産業の活性化を進めます。
- ・地域づくりと連携するコミュニティビジネスを支援します。

2. 目標

○重点目標

Plan

- ・国や県の補助事業を活用し、事業者の魅力的な店舗づくりやまちづくりの取組を支援し、商店街の活性化を図ります。
- ・「とれたて名張交流館」を活用した地産地消の取組や地元製品の発信など、地域資源を活用することにより、産業の活性化を図ります。
- ・商工会議所等の関係機関と連携し、セミナーや相談会の開催を行うとともに、企業の商品開発や新規事業等に対する支援を行い、経営基盤の強化を図ります。
- ・新規事業者向けセミナーを開催するなど支援策を充実させることにより、創業機会の拡大を図ります。
- ・国や県の補助事業を活用し、地域づくり組織等が取り組むコミュニティビジネスの促進を図ります。

○目標達成に向けた課題

Plan

- ・大型店の進出や消費者ニーズの多様化などの影響により、経営不振が続く商店街等の活性化に向けた具体的な支援を検討する必要があります。
- ・昨今の景気回復の影響が地域に波及するまでには未だ時間を要することから、企業等の持ち味を生かした製品、技術、サービス等の開発を促進する必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

- ・地域づくり組織と一体的に産業振興に取り組む体制や仕組みを整備する必要がある。
- ・地域産業活性のための情報発信や地域ブランド開発に「とれたて名張交流館」の有効活用を促進すべきである。

○施策指標 (目標) 及び達成状況

Plan

Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
市内総生産 (億円) <small>(実績値は各年度とも前々年度値。※1:2006年度値、※2:2008年度値、※3:2009年度値、※4:2010年度値、※5:2011年度値) ※毎年データの遡及改訂を行っており、既報の公表値とは異なっています。</small>	目標	-	-	-	2,467		2,516	
	成果	※1 2,431	※2 2,375	※3 2,240	※4 2,337	※5 2,292		0%
年間商品販売額 (億円) (※1:2007年度値)	目標	-	-	-	920		930	
	成果	※1 919	※1 919	※1 919	※1 919	※1 919		0%
商工会議所の会員数 (社)	目標	-	-	-	1,180		1,200	
	成果	1,160	1,155	1,171	1,155	1,157		0%
年間製造品出荷額等 (億円) <small>(実績値は各年度とも前年度値。※1:2007年度値、※2:2009年度値、※3:2010年度値、※4:2011年度値、※5:2012年度値)</small>	目標	-	-	-	2,500		2,700	
	成果	※1 2,498	※2 1,951	※3 2,102	※4 1,954	※5 2,210		0%
エコポイント事業に取り組む店舗・事業所の登録数 (店)	目標	-	-	-	60		65	
	成果	58	58	58	58	58		0%
買物や食事などの日常生活の利便性に満足している市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-		70.0	
	成果	-	62.4	68.3	65.6	67.3		64%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容

Do

- ・国や県の補助事業の活用を市内事業者に促すため、関係機関に働きかけ説明会を開催するとともに、約100社の企業の訪問、電話での事業の紹介、メール、ホームページでの周知に取り組みました。
- ・意欲ある事業者の増加により、国、県の補助事業採択件数が増加し、国のものづくり補助金では6社が採択を受け、同じく国の先端設備投資補助金では6社、県のコミュニティ応援ファンド助成金では4社が採択を受け、事業に取り組みました。中でも先端設備投資補助金の2次採択では、県内12社中4社が名張の事業者となりました。
- ・様々なツール、機会を活用した情報発信の結果、市内事業者が経済産業省が創設した「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。
- ・市内商店街を訪問し、国、県等の事業活用を促し、全国商店街振興組合連合会の補助事業の採択をうけ、事業に取り組むとともに、ご当地アイドルが組織されました。
- ・新たにオリジナル商品開発に対する支援を行い、市内5事業者が新商品を発売しました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

- ・「とれたて名張交流館」の事業改善に取り組み、取扱額約8千万円、取扱点数約35万点を売り上げました。
- ・「とれたて名張交流館」において、県の補助事業を用いた地域ブランドの開発と「まちの駅なばり」のPR事業を開始しました。（事業実施期間：平成26年3月25日～平成27年3月16日）

○地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・国、県等の事業について、地域づくり組織に情報提供、説明会への参加案内を行い、コミュニティビジネスなどへの活用を促しました。
- ・地域産業の活性化や地域づくりの推進を図るため、「名張市民産学官連携推進協議会」の関係機関と連携し、新たに連携交流会を開催し、共同研究へのきっかけ作りに取り組みました。
- ・近畿大学工業高等専門学校と市内企業の共同研究に対する支援を行い、5件の共同研究に取り組みました。
- ・若手事業者育成のため、商工会議所青年部と連携して、若者後継者育成事業を行いました。
- ・地域振興、産業活性化の一環として「三重の魅力・名張元気フェア」の開催を支援しました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

- ・地域づくり組織が栽培したきのこの販売に連携して取り組むとともに、地域づくり組織と地元酒蔵が連携した酒造りについて、支援を行いました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 12 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		担当室による評価			部局による評価			
			事業費 (単位：千円)		事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2012 (H24)	2013 (H25)					
1094	バイオマスタウン構想推進事業 *	産業政策室	1,530	55	A	検討している、今後可能性がある	統合検討	B	—
1210	地場産業振興事業 *	商工経済室	4,536	5,469	A	実践している	継続(改善)	A	A
1226	地場産商品開発・流通促進事業(緊急雇用創出事業) *	商工経済室	2,800	5,405	B	実践している	H25完了	B	—
1273	起業支援型地域雇用創造事業(緊急雇用創出事業) *	商工経済室	—	5,310	B	該当しない	H26完了予定	B	B
3056	企業立地推進事業 *	商工経済室	51,493	51,600	B	該当しない	継続(現行)	A	A
3057	商工会議所業務補助金	商工経済室	3,989	3,989	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3058	商工業振興事業補助金 *	商工経済室	1,731	1,611	B	該当しない	継続(現行)	B	A
3059	小規模事業資金保証料補給補助金	商工経済室	880	1,955	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3060	中小企業退職金共済掛金補助金	商工経済室	315	223	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3155	小規模事業者経営改善資金利子補給補助金	商工経済室	—	0	B	該当しない	継続(現行)	B	B
5018	リバーナホール管理運営事業	商工経済室	4,165	4,160	B	該当しない	継続(現行)	C	C
6083	商工総務一般経費	商工経済室	6,259	2,006	B	該当しない	継続(現行)	—	—
合計(単位：千円)			77,698	81,783					

小計（うち、一般会計分）	77,698	81,783		
小計（うち、特別会計・企業会計・組合会計分）	0	0		

5. 部局による施策評価

Check

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の補助金等外部の財源を意欲ある事業者が活用し、生産性向上や事業拡大に取り組むことにより、地域経済の活性化を図ることができました。 ・市内商店街との連携した事業実施により、「縁結びガールズ」が組織され、様々な機会を活用した情報発信を行い、活性化が図られました。 ・地域づくり組織や、地域づくり組織と企業の連携した事業に対する支援を行うことにより、単なる新商品でない新たな価値ある商品が発売されました。 ・市内事業者への情報提供、働きかけについて、より有効な手段を検討する必要があります。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者を対象に国や県の補助事業等についての説明会を開催するほか、様々な手段、機会を活用して情報提供に取り組みます。 ・引き続き企業を訪問し、国や県の事業の活用について直接働きかけるとともに、それら企業の情報を収集し、近大高専と市内企業等との共同研究の促進や事業者向けセミナーの開催等、各種支援策に活用します。 ・「とれたて名張交流館」の更なる改善に取り組み、取扱額、取扱点数ともに増加させることにより、会員及び市内事業者への波及効果を及ぼします。 ・地域づくり組織や企業の情報に常に注意を払い、新たな連携や補助メニューの活用を促します。 ・関係機関や地域と連携し、商業者や企業に向けた事業活性化に役立つセミナーの開催や新規事業等に対する支援を行うとともに、商店街の活性化による地域づくりやコミュニティビジネスへの支援を行います。 ・民産学官連携を促進するため、企業と教育機関との共同研究等に対する支援を行います。
--

7. 総合評価

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他（意見）
<p>新たな産業の創出支援・育成など市内都市産業の活性化に向けた継続的な取組に加え、地域づくり組織等によるコミュニティビジネスを促進する取組を進めていく必要がある。</p>